

「月の天候」の内容と資料の見方

2024 年 1 月 1 日

「月の天候」は、気象官署、特別地域気象観測所及び地域気象観測所における気象観測値などをもとに、県内の天候についてとりまとめ、翌月上旬に速報として発行している。

資料に掲載している観測値などは、後日、内容を訂正・追加することがある。

以下にそれぞれの掲載内容について説明する。

1 天候経過

月の天候の特徴についてキーワードを用いて簡潔に特記し、併せて月と旬の天候の経過や特徴、顕著現象の発現について記載する。

2 日々の気圧配置

県内の天気に影響を及ぼした低気圧や前線、高気圧などの日別の気圧配置を記載する。

3 気候統計値

山形、酒田、新庄、米沢の月及び旬ごとの平均気温、降水量、日照時間の観測値と平年差（比）、階級区分を記載する。なお、米沢の日照時間は、令和 3 年 3 月以降「推計気象分布（日照時間）」から得る推計値としている。

12 月から 3 月までは、月降雪量（降雪の深さ月合計）と月最深積雪の観測値と平年比も記載する。

■旬・月統計値

要素（単位）	内容（最小位数及び単位）
平均気温（℃）	日平均気温から求めた旬または月の平均値（0.1℃）
降水量（mm）	旬または月の降水量合計値（0.5mm） 「0.0mm」は降水量 0.5mm 未満、「-」は降水なしを示す
日照時間（h）	旬または月の日照時間合計値（0.1h）
月降雪量（cm）	月の降雪の深さの合計値（1cm）
月最深積雪（cm）	日最深積雪の中の最大値（1cm） 日最深積雪は毎正時の積雪の深さの観測値（24 回）の最大値
平年差（℃）/平年比（%）	平均気温の平年差は平年値との差（0.1℃） 降水量・日照時間の平年比は平年値との比（1%） 月降雪量・月最新積雪の平年比は平年値との比（1%）

■平年値と平年比較の階級区分

平年値は、その時々々の気象（気温、降水量、日照時間等）や天候を評価する基準として利用されている。10 年ごとに更新しており、令和 3 年 5 月以降の資料から 1991～2020 年の 30 年間の観測値をもとに作成した平年値を使用している。

階級区分は「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 階級とし、それぞれの出現率は 33.3% で同じである。a は統計期間内（1991～2020 年）の最小値、f は最大値である。また、低い（少ない）方または高い（多い）方から出現率 10% の範囲を、それぞれ「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表し、補足的に用いている。



なお、階級区分値を求めるための統計期間内の資料の分布に偏りがある場合は、平年値が階級区分の「平年並」に属さないことがある。

例：山形の10月の降水量の階級区分
かなり少ない $\leq 34.2\text{mm}$ < 少ない $\leq 59.7\text{mm}$ < 平年並 $\leq 96.5\text{mm}$ < 多い $\leq 249.0\text{mm}$ < かなり多い
平年値「105.1mm」は階級区分では「多い」となる。（統計期間 1991年～2020年）

4 気象経過図

県内6地点（新庄・酒田・山形・鶴岡・長井・米沢）の日最高気温・日平均気温・日最低気温・日照時間・日降水量の観測値と平年値を日別グラフで示し、掲載する。

5 気象分布図

気象官署、特別地域気象観測所及び地域気象観測所の月平均気温・月降水量・月間日照時間と平年差（比）を地図上に示し、掲載する。

6 極値・順位値更新表

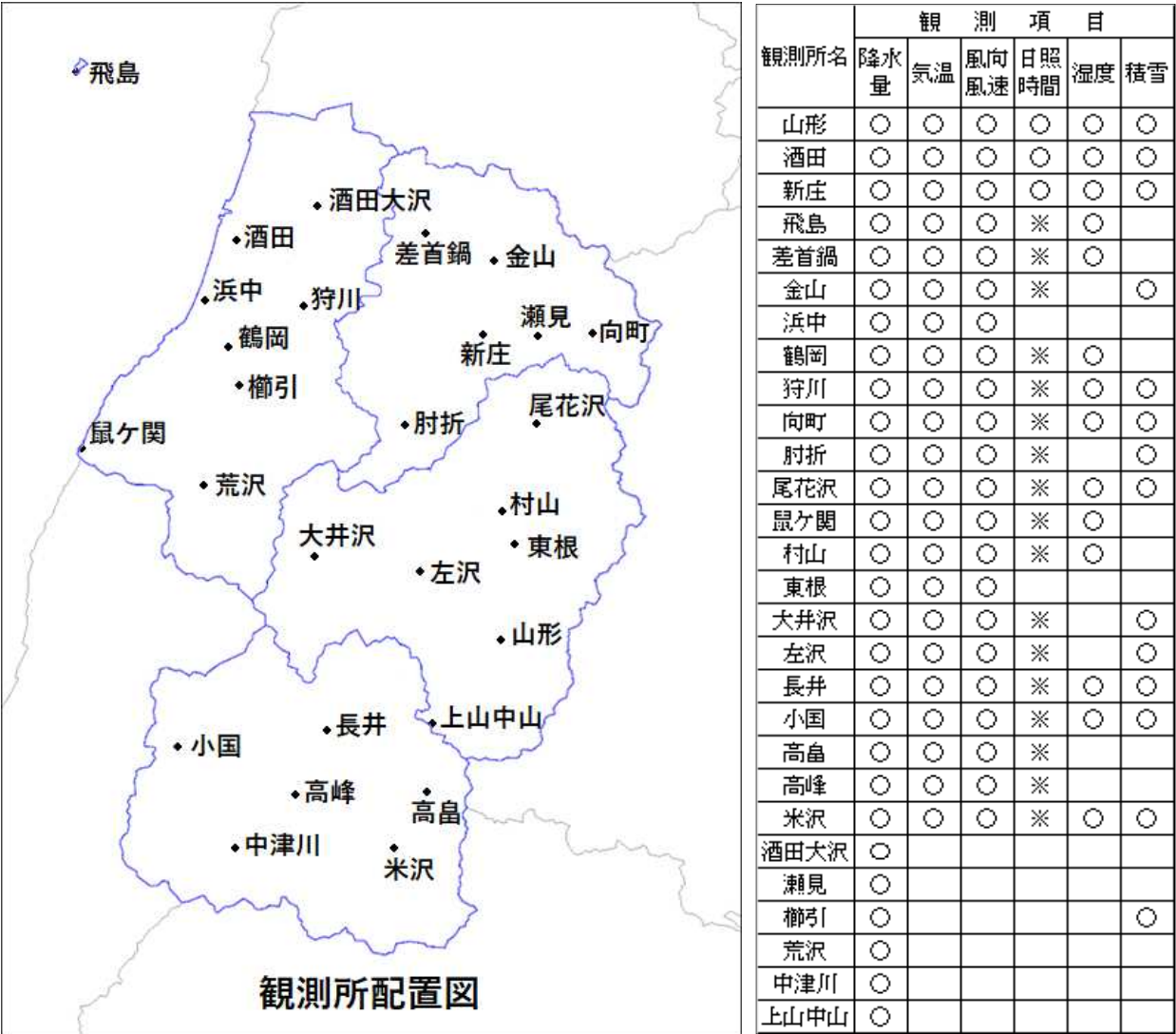
気象官署、特別地域気象観測所の観測要素について、極値（1位）及び順位値（3位まで）の更新を記載する。

地域気象観測所の統計期間10年以上の観測要素について、極値（1位）の更新を記載する。

7 その他

生物季節観測などのトピックスや参考となる事項を掲載する。12月は年の統計値等も掲載する。

【参考】山形県内のアメダス観測所 2024年1月1日現在



※山形、酒田、新庄を除くアメダス観測所の日照時間は、推計気象分布（日照時間）から得る推計値である。